

環境活動レポート

刈鋌工業 株式会社

実施期間 2011年7月～2011年9月

作成日 2011年12月

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

目次

1	組織の概要	3	ページ
2	対象範囲	4	ページ
3	環境方針	5	ページ
4	環境目標	6	ページ
5	環境活動計画	7	ページ
6	環境目標の実績	8	ページ
7	環境活動計画の取組結果と その計画、次年度の取組内容	9	ページ
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	10	ページ
9	代表者による全体評価と見直しの結果	11	ページ

1. 組織の概要

・事業者名	刈鋌工業株式会社
・代表者	代表取締役 江原 功一
・所在地	愛知県豊田市若林西町広崎35番地
・法人設立	1949年6月
・敷地面積	10,450平方メートル
・延床面積	10,770平方メートル
・資本金	4,700万円
・従業員数（2011年12月現在）	役員 5人 従業員 93人 派遣社員 27人
・売上高	2009年3月 27億9700万円 2010年3月 31億1000万円 2011年3月 29億9700万円
・環境管理責任者	取締役 江原 圭亮
・担当者連絡先	環境活動事務局 清水（0565-52-3824）

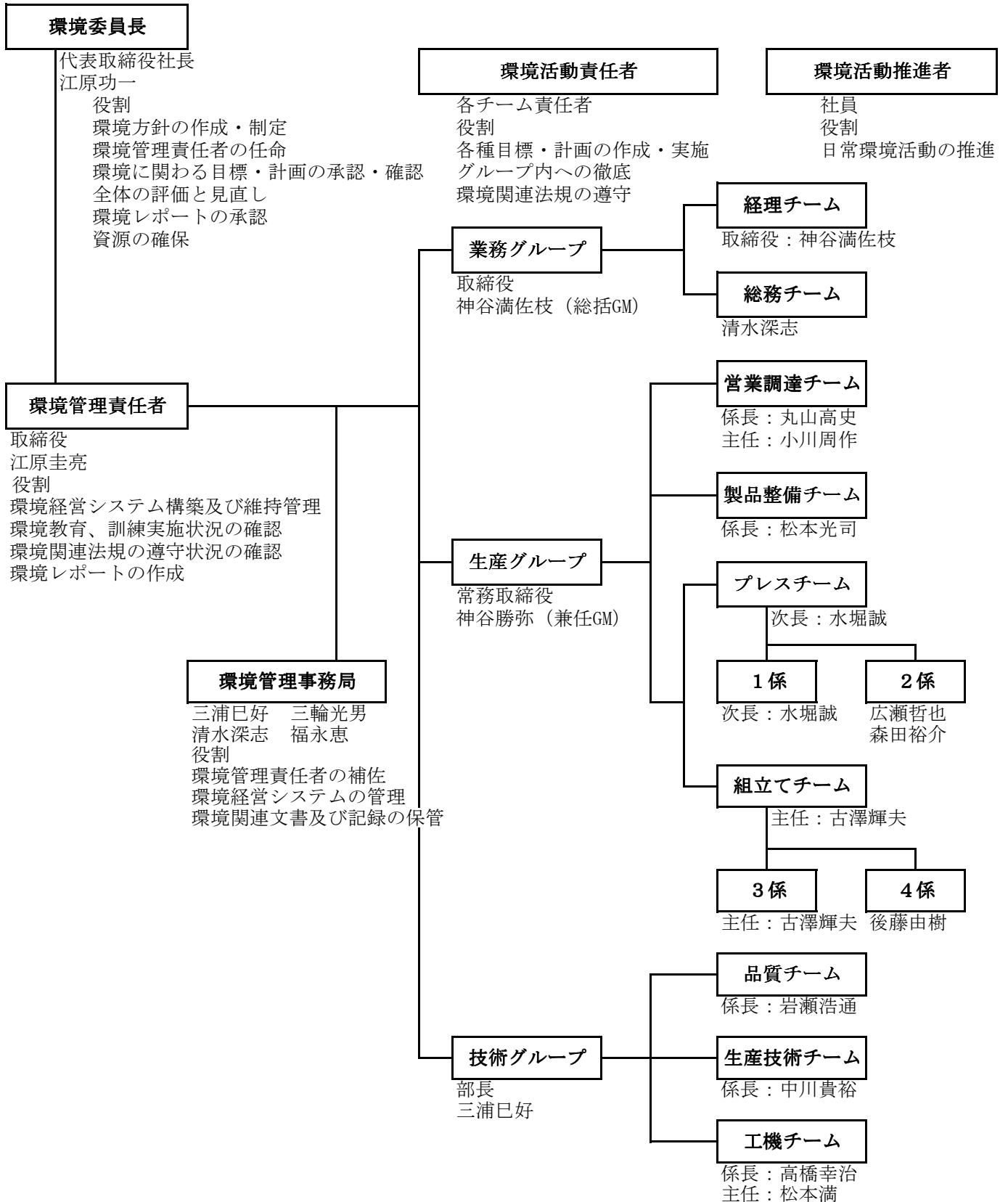
2. 事業内容

- ・自動車部品製造（車体系機能部品）
- ・プレス、溶接、組立加工
- ・プレス金型、治工具の製造

3. 主要取引先

- ・アイシン精機株式会社

2. 対象範囲、対象期間及び発効日



対象従業員数 (全社員)

正社員 92名 パート 6名 派遣 27名

合計 125名

対象期間

エコアクション取組 2011年7月より

今回集計9月までの3ヶ月

発効日 環境方針発表 2011年2月10日

環 境 方 針

当社は環境への取り組みとして、豊かで美しい自然環境を次世代に引き継ぐことを企業の責任と考え、全社一丸となって自発的社会貢献を促進させ、環境保全活動を実行する

- 1 環境管理推進のためのマネジメントシステムを構築するとともに本方針に基づいた環境目的及び環境目標を定め、計画的な実施と見直しにより環境保全の継続的改善に努める。
- 2 環境に関する法規制・協定等を遵守するとともに自主基準を設け汚染の予防活動に努める。
- 3 当社の基本的活動として、地球環境に配慮し資源・エネルギー及び廃棄物を低減し、再利用し、再資源化する資源の循環型社会に努める。
- 4 環境教育・啓蒙活動を通じ、従業員一人一人が環境・資源を大切にする風土作りを行う。
- 5 地域住民との対話を大切にし、社会の一員として自覚と責任を持ち、地域の範となるべく環境保全活動に努める。

尚、本環境基本方針は一般に公開する。

2011年 2月10日

刈鋌工業株式会社
環境委員長
代表取締役 江原 功一

4. 環境目標

目標（'11年度）	目標（'12年度）	目標（'13年度）
<p>省エネ</p> <p>購入電力の削減</p> <p>総購入量/生産数において</p> <p>10年度 118.3万kwh 10年度比5%の削減</p> <p>CO2排出量の低減</p> <p>総購入量/生産数において</p> <p>10年度 58.3万kg/co2 10年度比5%の削減</p> <p>ガソリン・軽油使用量 基準値作成</p> <p>灯油使用量 基準値作成</p>	<p>10年度比10%の削減</p> <p>10年度比10%の削減</p> <p>11年度比5%の削減</p> <p>11年度比5%の削減</p>	<p>10年度比15%の削減</p> <p>10年度比15%の削減</p> <p>11年度比10%の削減</p> <p>11年度比10%の削減</p>
<p>廃棄物の低減</p> <p>一般廃棄物 基準値作成</p> <p>産業廃棄物</p> <p>埋立処分用廃プラ 基準値作成</p> <p>埋立処分用混合物 基準値作成</p>	<p>11年度比5%の削減</p> <p>11年度比5%の削減</p> <p>11年度比5%の削減</p>	<p>11年度比10%の削減</p> <p>11年度比10%の削減</p> <p>11年度比10%の削減</p>
<p>リサイクルの推奨</p> <p>廃プラスチック 基準値作成</p> <p>古紙 基準値作成</p>	<p>リサイクルの推進</p> <p>リサイクルの推進</p>	<p>リサイクルの推進</p> <p>リサイクルの推進</p>
<p>省資源</p> <p>水使用量 基準値作成</p> <p>紙資源の再利用の促進</p> <p>コピー紙 167,500枚 10年度比5%の削減</p> <p>帳票紙 102,000 10年度比5%の削減</p>	<p>11年度比5%の削減</p> <p>10年度比10%の削減</p> <p>10年度比10%の削減</p>	<p>11年度比10%の削減</p> <p>10年度比15%の削減</p> <p>10年度比15%の削減</p>
<p>化学物質の削減</p> <p>PRTR対象物質 基準値作成</p> <p>総化学物質の削減 基準値作成</p>	<p>11年度比5%の削減</p> <p>11年度比5%の削減</p>	<p>11年度比10%の削減</p> <p>11年度比10%の削減</p>
<p>グリーン購入の推進 購入可能な物を推進</p>	<p>グリーン購入の推進</p>	<p>グリーン購入の推進</p>

5. 環境活動計画

全社にて取り組む計画と各係において目標を立て実施する計画を立て活動

購入電力の削減について	
休憩時間の消灯管理	各係毎休憩時の消灯チェックリスト記入
空調の温度設定管理	各係毎冷暖房設定温度チェックリスト記入
デマンド装置の設置	時間ごとの電気使用量の把握
工場圧縮空気の漏れ確認・修理	各別活動計画表にて管理
化石燃料の削減について	
灯油使用量の管理	灯油使用量管理表への記入 ストーブのつけっぱなしをなくす
ガソリン、軽油使用量の管理	エコドライブの推進 アイドリングストップの周知
廃棄物の低減について	
一般廃棄物	廃棄物排出量管理表への記入 ゴミ分別表の配布による分別の周知 分別専用ゴミ箱の設置
産業廃棄物	分別の周知 使い切る努力、再利用の推進
リサイクルの推進	
廃プラスチック	廃棄物排出量管理表への記入
古紙	専用ゴミ箱の設置
水使用量	節水の周知 漏れの確認を定期的に行なう 使用量の把握
紙資源の再利用の促進	裏紙使用の周知
コピー紙 167,500枚	文書の電子化の推進
帳票紙 102,000	使用量の把握
化学物質の使用量の削減	使用量の把握
グリーン調達	新規購入品の確認

6. 環境目標の実績

環境への負荷		単位	前年同月実績 (7月～9月)	7月～9月	削減率	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	k g-CO ₂	154,452.75	133,601.35	13.5%	
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	燃やすゴミ	k g	—	2,199.63	—
		再資源物	k g	—	186.94	—
	産業廃棄物	(廃油等)	t	5.16	0.45	—
		(廃油以外)	t	1.00	0.12	—
		最終処分量	t	6.16	0.57	—
③-1 総排水量	公共用水域	m ³	1,606.00	1,208.00	24.8%	
	下水道	m ³	—	—		
③-2 水使用量	上水	m ³	—	—		
	地下水	m ³	1,606.00	1,208.00	24.8%	
④ 化学物質使用量	PRTR対象物質	L	55.96	80.96	44.7%増	
	総化学物質使用量	L	7,968.00	7,357.00	7.7%	
		L				
⑤ エネルギー使用量	購入電力	k w h	317,782.00	273,668.00	13.9%	
	化石燃料	L	1,777.00	1,663.00	6.4%	
	新エネルギー	L				
	その他	L				
⑥ 物質使用量	紙使用量	枚	53,500	63,500	18.7%増	
	循環資源（鉄スクラップ）	kg	1,170,269	1,001,854	15.4%	
⑦ サイト内で循環的利用 を行っている物質量等	コピー用紙裏紙使用	%	—	利用できるもの100%	—	
⑧ 総製品生産量または 総売上額	生産実績数	個数	22,912,247	22,712,929	0.9%	

総排水量は把握が困難なため、地下水汲み上げ量を総排水量とします

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標とその達成状況

取組み内容については社員全員に周知し、環境への意識を高めることが出来た
昨年実績に対し数値目標の達成項目もあるが、3ヶ月の実績なので今後も今の
目標を継続し環境負荷の削減に努める

環境活動計画の実施状況

活動3ヶ月間に廃棄物の分別廃棄、電気の無駄遣いを減らすなど、いろいろな
取組を実施しているが、一部チェック表への記入もれがあり、今後の課題にしたい。
設備のエアリーク等の改善が進んでおり、これらの継続により今後環境負荷の
削減に結びつけていく。

問題点の是正予防報告

取組3ヵ月のため、現状実績の把握に努めています
自社の基準を作成し問題点が明確になるように活動をする

利害関係者等の環境情報

特になし

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに、訴訟の有無

当社に適用となる主な環境関連法規

法律名	遵守事項	遵守状況
騒音・振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行・管理 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認	遵守
浄化槽法	保守点検・定期点検の管理	遵守
環境を保護する法	環境負荷の低減	遵守

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

環境測定が現在おろそかになっていますので、各係協力の元、環境測定を実施し、環境負荷の認識に努めていきます

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境目標とその達成状況と環境活動計画の実施状況

エコアクション21への取組の初年度であり、環境負荷に対し、いろいろな取組を考え提案することは良いが、実際にその提案を実行にしたときの費用対効果がどのようになるかをもっと具体的にしなければ、経営者としては許可することが出来ない。

設備等の交換を行えば電気使用量は減るが、たとえばLED照明が節電になるから導入したい、ではなく費用がどのくらいで耐用年数が何年、工事費がかかるのか、取り付け後の維持はどうか等の費用対効果を必ず検証して欲しい。

売上が上がった場合、設備の新設が行なわれたり、新規の仕事のための新規設備導入等にて使用電量が増加するときの与える負荷は増えるが、その負荷に対して環境の取組をどのように評価していくのかの検証にも取り組んで欲しい。

環境関連法規の見直し、遵守状況、外部からの苦情等の受付結果

3ヶ月の経過時点では、見直し・苦情はないが、今後の活動の継続を実行して欲しい